

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

咸鏡北道、羅先市、咸鏡南道で災害復興住宅が竣工、新居入りの儀式が行われる

2020年11月23日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡北道漁郎郡龍坪里と咸鏡南道虚川郡新洪労働者区に新たな住宅(災害復興住宅)が建てられた。同月30日発、『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道新浦市、端川市、利原郡、徳城郡、北青郡、咸鏡北道清津市、金策市、漁郎郡、吉州郡と羅先市先鋒区域等の災害地域に数千世帯の住宅が建設され、キム・ Cholサム咸鏡北道党委員会委員長、パク・マンホ同道人民委員会委員長、キム・ボンヨン咸鏡南道人民委員会委員長、シン・ヨン Chol 羅先市党委員会委員長、シン・チャニル同市人民委員会委員長、関係部門の活動家、建設者、被災地住民らが参加した新居入りが行われた。

羅先ビール工場が竣工

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、羅先市先鋒地区に瓶洗浄工程から包装工程まで自動化された羅先ビール工場が竣工し、同月29日、竣工式が行われた。同工場で生産されるビールには「豆満江ビール」という商標が付いている。

平安北道昌城郡に羊飼育場が竣工

2020年11月30日発『朝鮮中央通信』によれば、同月29日、平安北道昌城郡の活動家と勤労者たちが新たに建設した羊飼育場の竣工式が行われた。

咸鏡南道で高原大興発電所が操業開始

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡南道に高原大興発電所が建設され、操業を開始した。操業式にはキム・ドゥホン咸鏡南道党委員会副委員長、関係者、突撃隊員と工場従業員が参加した。

平安北道で東来江貯水池が竣工

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道で東来江貯水池が竣工した。同貯水池の建設により、洪建島干拓地の数千町歩に及ぶ耕地に灌漑用水を十分に保障できるようになった。ムン・ギョンドク平安北道党委員会委員長、関係者、鴨緑江地区灌漑管理所従業員、建設者の参加の下で、同年11月30日に竣工式が行われた。

全国的に冬季の植樹

2020年12月1日発『朝鮮中央通信』によれば、全国的に冬季の植樹が行われているとのことである。国土環境保護省山林総局と山林部門では自然災害を被ったり、活着率が低い地域をもれなく探し出し、植林を行うようにしているとのことである。

最高人民会議常任委員会 第14期第12回総会

2020年12月5日発『朝鮮中央通信』に

よれば、同月4日、平壤の万寿台議事堂で行われた。崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が総会を司会した。

太亨徹、パク・ヨンイル最高人民会議常任委員会副委員長ら、コ・ギルソン同書記長をはじめとする最高人民会議常任委員会委員たちが総会に参加した。最高人民会議常任委員会と内閣の当該幹部がオブザーバーとして参加した。

総会には「朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議を招集することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国反動思想文化排撃法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国科学技術成果導入法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国林業法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国移動通信法を採択することについて」、「朝鮮民主主義人民共和国中央裁判所判事召還および選挙について」などの議案が上程された。

総会ではまず、本会議に提起された朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第4回会議を招集することに関する最高人民会議常任委員会決定を全員一致で採択した。

最高人民会議法制委員会が審議された準拠法の基本内容に対する解説があった。

反動思想文化排撃法は、反社会主義思想文化の流入、流布行為を徹底的に防ぎ、われわれの思想、われわれの精神、われわれの文化をしっかりと守り抜くことによって思想的障地、革命障地、階級的基盤をいっそう強めるうえですべての機関、企業所、団体と公民らが必要守らなければならない準則を規制した。科学技術成果導入計画の作成と達達、掌握と統制、遂行情況総括において厳しい規律を確立することに関する問題、科学技術成果導入に関する審議、審査、評価、確認活動で科学性、客観性、正確性を保障することに関する問題などが科学技術成果導入法に具体的に明らかにされている。林業法では国家的投資の下で近代的な林業拠点をしっかりと築き、循環式伐採方法を正しく適用して国の森林資源を引き続き増やしながら丸太生産を正常化し、大衆の運動で植樹と手入れをおこない、木材の供給および販

売、利用で制定された規律と秩序を徹底的に守ることに関する問題が強調された。移動通信法には、移動通信施設の建設と管理・運営、移動通信網の近代的な完備、移動通信の多様化、多様化実現、移動通信サービスと利用、移動通信設備の登録をはじめ移動通信事業で提起される原則的問題が反映された。

総会では上程された法案に対する真摯な研究討議に基づいて朝鮮民主主義人民共和国反動思想文化排撃法、科学技術成果導入法、林業法、移動通信法を採択することに関する最高人民会議常任委員会政令が全会一致で採択された。

総会では朝鮮民主主義人民共和国中央裁判所判事を召還および選挙した。

咸鏡北道の被災地に千数百世帯の住宅建設、新居入りの儀式

2020年12月9日発『朝鮮中央通信』によれば、216師団と社会安全省旅団の軍人建設者と突撃隊員らが咸鏡北道の会寧市、茂山郡、穩城郡、慶興郡、慶源郡の被災地に建設した千数百世帯の住宅の新居入りの儀式が行われた。

儀式には、パク・マンホ咸鏡北道人民委員会委員長、キム・グエン Chol、キム・ボンギル咸鏡北道党委員会副委員長ら、216師団と社会安全省旅団の指揮メンバー、関係者が参加した。

社会安全省旅団の軍人建設者らは新しい村にりんごの木、梨の木、スモモをはじめとする数千株の果樹も植えたとのことである。

慈江道で860余世帯の農村住宅を新たに建設

2020年12月12日付『労働新聞』によれば、慈江道で農村住宅建設を推進し、今年860余世帯の住宅を新たに建設したとのことである。

江界市では、野鶴野菜専門協同農場の面ぼうを一新させ、慈城郡ではヌブク協同農場にモデル村をうち建てたのに続けて郡内の各所に数十世帯の住宅を建設した。中江郡では80余世帯の文化住宅を地方の特色が生きるように建設した。松源郡では、100余世帯の住宅を、満浦市、時中郡、和平郡などの幹部と勤労者も内

部予備を積極的に探し出し、農村住宅建設を推し進めたとのことである。

アロニアの栽培の科学化を推進

2020年12月16日付『朝鮮新報』電子版によれば、北朝鮮では経済的価値が高いアロニアの栽培に力を入れているとのことである。アロニアは1985年10月17日に旧東ドイツベルリン種子および育苗工場の支配人が金日成主席と金正日総書記にプレゼントした植物であるとのことである。

現在、黄海北道燕灘郡が産地として有名であるが、全国各地で栽培されている。山林科学院経済林研究所ではアロニア栽培をより科学的に行う研究を進めているそうである。

各地で温泉探査が活発におこなわれる

2020年12月20日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮各地で温泉探査が活発に行われているとのことである。今年、黄海南道三泉郡邑地区と黄海北道谷山郡文陽里地区、咸鏡南道金野郡温香里地区と咸鏡北道明川郡黄津里地区、鏡城郡冠帽里地区で温泉の水量を増やすための探査を終え、平安北道雲山郡、慈江道東新郡、両江道普天郡、江原道法洞郡、南浦市温泉郡などの各地域では温泉を新たに探したり水量を増やしたりするための活動が引き続き力強く繰り返されてきているそうである。

平壤市の各地域と白頭山地区の温泉探査でも成果が収められているとのことである。探査省の幹部は現場を一つずつ任されて出向き研究者と共に新しい温泉掘位置を確定し、ボーリング探査をおこなった。この過程で黄海北道谷山郡文陽里地区と黄海南道三泉郡邑地区で水量が多い新しい温泉を探し出し、両江道普天郡内谷里地区と南浦市温泉郡邑地区では温度が高い温泉を探し出したとのことである。

咸鏡南道で920余世帯の農村住宅を新たに建設

2020年12月23日付『労働新聞』によれば、咸鏡南道で920余世帯の農村住宅を新たに建設したとのことである。北青郡龍田果樹農場、徳城リンゴ農場に低層住宅

がモデルとして建てられた。耀徳郡、高原郡でも80日間戦闘期間に文化住宅を建設した。定平郡、楽園郡の建設者は自分が住む故郷の村を自力で建設するとして、設備、資材を自力で解決しながら住宅にふさわしい理髪室、美容室、風呂場などを整えた便宜サービス施設網も立派に整えた。新興郡、咸州郡、赴戦郡でも新たな住宅が建設されたとのことである。

光川養鶏場飼料保障農場に千数百世帯の住宅建設、新居入り儀式が行われる

2020年12月28日付『労働新聞』によれば、黄海北道黄州郡に家禽部門のモデルとして建設中である光川養鶏場の飼料を保障する農場に千数百世帯の住宅が建設された。黄海北道黄州郡光川里、長沙里、黒橋里にまたがる新しい村の住宅周辺にはアンズ、柿をはじめとする果樹が植えられ、芝生も植えられた。住宅入舎の集いが27日、光川里、長沙里、黒橋里の農場の村でそれぞれ行われたとのことである。

黄海南道でチャヤン山ミネラルウォーター工場、道保健酸素供給所が完工

2020年12月29日付『労働新聞』によれば、黄海南道海州市鶴川地区にチャヤン山ミネラルウォーター工場が完工した。同工場の技術者たちは国家科学院電子工学研究所との緊密な連携の下で、生産工程の統合制御システムを実現したし、海州トラクター部品工場などの勤労者も完工に寄与した。また、道保健酸素供給所も完工した。

朝鮮労働党中央委員会 第7期第22回政治局会議

2020年12月30日付『労働新聞』によれば、同月29日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で、朝鮮労働党中央委員会第7期第22回政治局会議が開かれた。

同会議には、金正恩朝鮮労働党委員長のほか、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員と党中央委員会政治局委員、委員候補が参加した。

金正恩委員長の指導の下、金才龍党

中央委員会副委員長が会議を司会した。

会議は、朝鮮労働党第8回大会準備活動について研究した。朝鮮労働党各級組織代表会で選挙された代表者に対する資格審査を行って決定を下し、第8回党大会の執行部と幹部壇、秘書部の構成案、党大会の議定に応じた日程を討議、確定し、党大会に提起する文書について審議した。

朝鮮労働党中央委員会政治局は、上記の問題に対する真摯な研究を行い、上程された議定を承認した。朝鮮労働党中央委員会政治局は、朝鮮労働党第8回大会を2021年1月初旬に開会することに関する決定を採択した。

会議では、全党と全人民の非常な政治的熱意によって、「80日間戦闘」の期間、各分野において革新的成果と前進を成し遂げて、第8回党大会の招集のための立派な条件を整え、第8回党大会の諸般の準備活動が順調に締めくくられていると評価し、大会準備活動を引き続き実質的に立派に行うことで、大会活動の成果を徹底的に保証すべきであると強調した。

党中央委員会政治局はまた、第8回党大会に上程する一連の重大な問題について深く研究、討議し、当該の決定を採択した。

朝鮮労働党第8回大会代表証授与式

2020年12月31日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党第8回大会の代表証授与式が同月12月30日に行われた。

代表証の授与式ではまず、全党の数百万の党員と全ての朝鮮人民の一樣な意思と切々たる念願を込めて栄えあるわが党の創建者、建設者である金日成主席と金正日総書記に朝鮮労働党第8回大会の代表証を丁重に授与した、とのことである。

朝鮮労働党中央委員会政治局委員で副委員長である第8回党大会準備委員会委員長の金才龍氏は、朝鮮労働党第8回大会は社会主義強国建設偉業を勝利の次段階へ確固と引き上げるための闘争路線と戦略・戦術の方針を提示することによって光栄に輝くわが党の歴史に新しい転換の里程標を立てるようになる重大な政治的出来事になると語ったとのことである。

金正恩委員長が新年にあたり全人民に親筆書簡を送る

2021年1月1日付『労働新聞』によれば、金正恩国務委員長は新年にあたり全人民に親筆書簡を送った。内容は次の通りである。

「新年おめでとうございます。

新年を迎え全人民に謹んで祝願のあいさつを捧げます。

全国すべての家庭の大切な幸福がもっとすっきり花咲くことを切に願い、愛する人民の貴い安泰を敬虔に願います。

私は新年にも、わが人民の理想と念願が花開く新しい時代を早めるために力強く闘うでしょう。

困難な年月の中でも変わらずわが党を信じ、いつも支持してくれた心に感謝を捧げます。

偉大な人民を奉じる衷心ひとえに変わらないことを再び誓いながら。

金正恩」

朝鮮労働党第8回大会

2021年1月6日～13日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党第8回大会が平壤で開かれた。同大会の内容については、本号の特集記事を参照されたい。

朝鮮労働党中央委員会 第8期第1回総会

2021年1月11日付『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央委員会第8期第1回総会が同月10日、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部会議室で開かれた。同総会の内容については、本号の特集記事を参照されたい。この会議で、金正恩朝鮮労働党委員長は、朝鮮労働党総書記に推戴された。

金日成広場で平壤市軍民連合大会

2021年1月17日付『朝鮮中央通信』によれば、同月15日、金日成広場で平壤市軍民連合大会が行われた。崔竜海、李炳哲、金徳訓の各氏が、幹部壇に姿を現した。党と政府の幹部と委員会、省、中央機関、平壤市内の党、行政の責任活動家、労働革新者、武力機関の活動家が、幹部壇についた。大会には、委員会、省、中央機関の活動家、平壤市内の機関、工

場、企業、協同農場の活動家、勤労者、朝鮮人民軍および社会安全軍の将兵が参加した。

崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が演説した。

崔竜海委員長は、歴史的な第8回党大会で敬愛する金正恩同志を朝鮮労働党の首班として再び高きうたいたしたのは全ての党員と全朝鮮人民の絶対的な信頼と限りなく忠孝の心の噴出であり、朝鮮式社会主義勝利の決定的保証をもたらす、明るい前途を約束した革命的大慶事であると述べた。また、全ての党員と人民、人民軍将兵の烈火のような忠誠の心を込めてわが党とわが人民の偉大な指導者である金正恩総書記に最大の栄光と最も熱烈な祝賀を謹んでさげした。そして、活動家と党員と勤労者、人民軍将兵が第8回党大会の基本思想、基本精神でしっかり武装し、革命的情熱を百倍にして社会主義の建設で実際の成果、実質的な前進をもたらすことについて強調した。さらに、党中央の周りに一心同体となって固く団結して、社会主義偉業のさらなる勝利を収めるために、人民の理想と念願が実現される新しい時代を早めるために、第8回党大会の決定貫徹に力強く奮い立つことを熱烈に呼びかけた。

大会では、楊勝虎内閣副総理、平壤市党委員会の金栄煥責任書記、朝鮮人民軍の将官キム・グァンヒョク氏が討論した。各討論者は、不世出の偉人である金正恩総書記を朝鮮労働党を代表し、導く最高の首位に変わることなく高きうたいたわが人民の大きな誇りと幸福について激情に駆られて述べた。

そして、党大会の決定貫徹において最も重要な革命課題は国の経済を一日も早く立てて人民の生活で実質的な改善をもたらすことだと述べ、自力更生、自給自足を新たな国家経済発展5カ年計画の基本種子、主題とした党の意図に即して経済の作戦と指揮を綿密に行って人民が体感できる革新と発展、実質的な変化を成し遂げる決意を披歴した。各討論者は、朝鮮革命の新しい高揚期、荘厳な激変期を開くための闘いで首都党員が中核、先鋒闘士となって新しい平壤精神、平壤速度を創造し、人民生活の安定、向上に党活動

の火力を集中することについて言明した。

また、人民軍は朝鮮労働党の革命的武装力、国家防衛の基本力量、革命の主力部隊として党と革命に対して担った聖なる使命と任務を果たすことで、党中央の指導を忠実に支えていくと強調した。各討論者は、首都の全ての党員と人民、人民軍将兵が金正恩総書記を忠誠を尽くして仰ぎ従い、以民为天、一心団結、自力更生の崇高な理念をより高く掲げて党大会の決定実行に決死の覚悟で奮闘して、社会主義わが国家の復興、繁栄を先導する新たな平壤繁栄期を必ずもたらすことを固く決意した。

続けて、大衆デモがあった。

朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式

2021年1月15日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式が同月14日夕、平壤の金日成広場で行われた。金正恩総書記が参加した。

閲兵式の奏楽は国務委員会演奏団、国防省中央軍楽団が担当した。崔竜海最高人民会議常任委員会、趙甬元朝鮮労働党中央委員会書記、李炳哲党中央軍事委員会副委員長・党中央委員会書記、金徳訓内閣総理が幹部壇についた。

朴泰成、チョン・サンハク、李日煥、金頭日、崔相建、金才竜、呉日晶、金英哲、呉秀容、鄭京澤、李永吉、朴太徳、ホ・チョルマン、キム・ヒョンシク、朴明順、李哲萬、太亨徹、金栄煥、パク・ジョンゲン、楊勝虎、チョン・ヒョンチョル、李善権各氏をはじめとする第8期党中央指導機関メンバーが幹部席に姿を現した。朴正天、クォン・ヨンジン、金正官各氏をはじめとする軍部の指揮メンバーが幹部席に姿を現した。党と政府、軍部で長い間活動してきた金永南、崔永林、楊亨燮、金己男、崔泰福、金京玉、李勇武、朴奉珠各氏が幹部壇に招待された。招待席には、朝鮮労働党第8回大会の参加者と特別客が席についた。

歌謡「かがやく祖国」が奏楽される中、21発の礼砲が発射され、朝鮮民主主義人民共和国国防相の金正官が演説した。続いて、国旗掲揚式が行われた。その後、閲兵が行われた。

閲兵式における金正官国防相の演説

2021年1月15日発『朝鮮中央通信』によれば、同月14日に行われた朝鮮労働党第8回大会記念閲兵式での金正官国防省の演説内容は次の通り。

「尊敬する全国人民と勇敢な共和国武力のすべての将兵たち!

閲兵部隊指揮官、戦闘員たち!

党第8回大会代表者と平壤市民のみなさん!

今日われわれは新しい希望と抱負、信念と大きな激動を抱いて栄光に輝く朝鮮労働党第8回大会を記念する盛大な閲兵式を挙行することになります。

今日の閲兵式は金正恩を首班とする朝鮮労働党の革命偉業を先頭に立って擁護し、支えていく英雄的なわが武装力の戦闘的気概と強大な力を再び内外に誇示し、党第8回大会が開いた新時代の闘いへと全党、全民、全軍を力強く鼓舞、激励する歴史的契機になるでしょう。

いま、ここ金日成広場に力強く行進することになる共和国の威風堂々たる精鋭部隊と無敵の鉄甲隊伍は、われわれの絶対的な力の象徴です。

今日、われわれは意義深いこの閲兵式で金正恩の指導に従って明日のさらなる勝利と繁栄をもたらす確固たる自信を抱いて勇敢で、凛々しく行進します。

われわれが進む道は、社会主義わが朝鮮をより強大で富裕な未来に押し進めるこの上なく神聖で誇らしい道であり、われわれの最強の力は金正恩の周りに全党、全民、全軍がひとつに固く結集した渾然一体、一心団結にあります。

われわれは全軍に党中央の唯一的指導体系をいっそう徹底的に確立してわが軍隊を金正恩の指導思想で息づくひとつの全一体としていっそう強化するでしょう。

共和国武力はいつも金正恩同志の命令と指示にだけに忠実であろうし、党が任せた革命の最前線、最前方で自己の使命と任務を立派に遂行していくでしょう。

共和国武力は、朝鮮半島地域でのあらゆる軍事的脅迫を徹底的に抑制するで

あろうし、もし敵対勢力がわが国家の安全を少しでも侵害するなら、われわれの最も強力な攻撃的な力を先制的に動員して徹底的に膺懲し、祖国と人民の安全、われわれの社会主義制度を鉄壁に守るでしょう。

わが軍隊は、朝鮮労働党の新しい歴史的進軍を最強の軍事力で保証するでしょう。

金正恩同志がいて、われわれは必ず勝利します。

偉大な金正恩元帥万歳!

わが人民のすべての勝利の組織者であり、嚮導者である栄えある朝鮮労働党万歳!

閲兵式に引き続き花火が打ち上げられる

2021年1月15日発『朝鮮中央通信』によれば、同月14日夕の閲兵式に続き、花火が打ち上げられた。

最高人民会議第14期第4回会議

2021年1月18日発『朝鮮中央通信』によれば、同月17日、平壤市の万寿台議事堂で最高人民会議第14期第4回会議が開催された。同会議の内容については、本号の特集記事を参照されたい。

金正恩國務委員長、米国を訪問して帰国した高位級代表団を接見

2021年1月23日発『朝鮮中央通信』に

よれば、平壤電子医療器具工場が近代化され、同月22日に竣工式が行われた。同工場には、高純度蒸留水器、電子胃内視鏡、デジタルレントゲン診断装置、磁気共鳴画像診断装置(MRI)など、電気・電子医療器具の生産と組み立てを工程別に専門的に行える設備が完備されているとのことである。

朝鮮労働党中央委員会の崔相建書記とリ・ソンハク内閣副総理、チェ・ギョン Chol保健相、万景台区党委員会のリ・イルベ責任書記など関係者らが、リニューアルされた平壤電子医療器具工場を見て回った。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘